

検査報告書変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび下記検査項目におきまして、報告書の内容を変更させて
いただきたく、ご案内いたします。
何卒ご了承賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2019年3月29日(金) ご報告分より

■ 変更項目

項目コード	項目名称
65338	男性 AICS (5種)
65345	女性 AICS (6種)
38862	男性 AIRS
38870	女性 AIRS

● 男性 AICS (5種)、女性 AICS (6種)、男性 AIRS、女性 AIRS

解析委託先である味の素株式会社より、報告書内容変更の申し入れがありました。
つきましては、以下の点について変更させていただきます。

変更点

- より見やすいプロット記号とするため、表面の AICS 値を示すプロット記号が「*」から「●」へ変更となります。
 - 各ランクでのがんである可能性【倍率】内の「有病率データ（※1）」が「罹患率データ（※2）」へ変更となります。罹患率データへの変更で、各がん種に即したより正確な説明が可能となります。
- ※1：岡本直幸：人間ドック 26 (3)：454-446 (2011) 味の素株式会社共同研究プロジェクト提供
 ※2：国立がん研究センターがん情報サービス：地域がん登録全国推計によるがん罹患データ (1975～2012年)

▼表面

新

■ がんである可能性

低い ← がんである可能性 → 高い



※各ランク内において人数の幅があるのは、AICS[®]では部位によってがんである可能性が異なるためです。

現

■ がんである可能性

低い ← がんである可能性 → 高い



※各ランク内において人数の幅があるのは、AICS[®]では部位によってがんである可能性が異なるためです。
※一般的に、10,000人に約10人が、がんであると言われていました。

▼裏面

新

●各ランクでのがんである可能性【倍率】 低い ← がんである可能性 → 高い

ランク分類		罹患率*	ランクA	ランクB	ランクC
AICS値			0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0
項目	がん種				
AICS(胃)	胃がん	0,1036%	1/3,088[0,3倍]	1/603[1,6倍]	1/95[10,2倍]
AICS(肺)	肺がん	0,0887%	1/3,342[0,3倍]	1/604[1,9倍]	1/125[9,0倍]
AICS(大腸)	大腸がん	0,1325%	1/1,510[0,5倍]	1/596[1,3倍]	1/92[8,2倍]
AICS(膵臓)	膵臓がん	0,0273%	1/12,744[0,3倍]	1/2,893[1,3倍]	1/316[11,6倍]
AICS(前立腺)	前立腺がん	0,1179%	1/1,885[0,5倍]	1/398[2,1倍]	1/133[6,4倍]
AICS(乳腺)	乳がん	0,1264%	1/1,194[0,7倍]	1/440[1,8倍]	1/198[4,0倍]
AICS(子宮・卵巣)	子宮がん・卵巣がん	0,0858%	1/4,660[0,3倍]	1/794[1,5倍]	1/100[11,6倍]

各種がんの罹患率を基にした場合の、がんである可能性
 出典:味の素株式会社共同研究プロジェクト 提供

上の表は、がん種ごとに、現在がんであるおおよその確率をランク別に示したものです。例えばAICS(胃)では、ランクAでは3,088人に1人が、ランクBでは603人に1人が、ランクCでは95人に1人が、胃がんであることを示しています。

【 】内は各種がんの罹患率を1とした場合の、がんである倍率を示しています。

※罹患率は、2012年の全国年齢別階級別推定罹患率(出典:国立がん研究センターがん情報サービス:地域がん登録全国推計によるがん罹患データ(1975年～2012年))に基づき、%表記に換算しています。

現

●各ランクでのがんである可能性【倍率】 低い ← がんである可能性 → 高い

ランク分類		ランクA	ランクB	ランクC
AICS値		0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0
項目	がん種			
AICS(胃)	胃がん	1/3,200[0,3倍]	1/625[1,6倍]	1/98[10,2倍]
AICS(肺)	肺がん	1/2,963[0,3倍]	1/536[1,9倍]	1/111[9,0倍]
AICS(大腸)	大腸がん	1/2,000[0,5倍]	1/789[1,3倍]	1/122[8,2倍]
AICS(膵臓)	膵臓がん	1/3,478[0,3倍]	1/789[1,3倍]	1/86[11,6倍]
AICS(前立腺)	前立腺がん	1/2,222[0,5倍]	1/469[2,1倍]	1/156[6,4倍]
AICS(乳腺)	乳がん	1/1,509[0,7倍]	1/556[1,8倍]	1/250[4,0倍]
AICS(子宮・卵巣)	子宮がん・卵巣がん	1/4,000[0,3倍]	1/682[1,5倍]	1/86[11,6倍]

一般の方が、がんである確率(有病率)を10,000人に10人(1/1000)とした場合の、がんである可能性

出典:岡本直幸:人間ドック 26 (3):454-466(2011)を改変 味の素株式会社共同研究プロジェクト 提供

上の表は、がん種ごとに、がんであるおおよその確率をランク別に示したものです。一般的に、10,000人に約10人(約0.1%)が、がんであると言われていました。例えばAICS(胃)では、胃がんの有病率(一般の方が、胃がんである確率)を10,000人に10人とした場合に、ランクAでは3,200人に1人が、ランクBでは625人に1人が、ランクCでは98人に1人が、胃がんであることを示しています。

【 】内は一般の方の有病率を1とした場合の、がんである倍率を示しています。